

はながたみ



発行：花筐公民館 TEL42-0361・FAX42-3350 花筐自治振興会 TEL・FAX42-3710 〒915-0242 越前市粟田部町17-20
花筐自治振興会HPアドレス<http://office.kakyo-jichi.com> ブログおとのんアドレス<http://ameblo.jp/ootonon>

幽玄の世界を堪能



今年の薪能は、台風の影響で屋内開催となりましたが、県内外から1,100名を超える方々にお越しいただき、新たな感動を実感した薪能となりました。

世阿弥の謡曲「花筐(はながたみ)」にちなんだ花筐薪能(はながたみたきぎのう)は、第1部の野村萬斎さんの狂言トークから始まり、第2部は人間国宝の狂言師 野村万作・萬斎さん親子による二つの演目につき、国重要文化財総合認定保持者の佐野由於さんと大坪喜美雄さんが能を演じられました。

今年は台風11号が接近し、花筐公園での開催が危惧されましたが、お客様や演者の皆さんも楽しみにしておられることから、何とか実施したいと開催前々日の8日に実行委員会で協議した結果、会場を花筐小学校に変更して実施することとなりました。

その直後から、全力でお客様への変更の周知を徹底させることや会場への能舞台設備運び入れなどの確認をするなど、対応に追われながらも無事開催に漕ぎ着けたところであります。

これは、この間の各種団体の方々や地区住民の方々のご協力とご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。この力はどこにも負けない強い絆の結集であり、花筐薪能と同じ地域遺産だと確信しました。

皆様、本当にありがとうございました。



粟田部祭りで披露されます！

薪能の案内灯として、夏休み前から花筐小学校の児童達が心をこめて描いた絵画を被せて制作された『行燈』は、10月12日からの祭期間中に神輿殿(拝殿裏)から本殿までの通路に飾りますので、是非ご覧下さい。



来館の際は、車の相乗りにご協力ください

女性の立場で防災を考える

男女協働参画事業の一環として、9月5日自治振興会の女性部員をはじめ、粟田部女性会や各団体の女性会員など17人が花筐公民館に集まり、粟田部に最も身近な「水害」について、女性の立場で災害を考える会が開催されました。

会議には、オブザーバーとして越前市男女協働参画センターよりオンブッドの北川さんを迎え、アドバイスを頂きながら活発な意見交換が行われ、下記のとおりいくつかの課題が提起されました。

* 自主防災会（組織）について

・多くの出席者が各区の自主防災組織について認識度が低く、住民への周知の必要性や女性の参画の必要性についても意見が出され自治振興会の地域部でも検討することになりました。

* 水害時における情報伝達について

・鞍谷川の水位情報を的確に収集する方法について、高齢者などパソコンを利用できない方々への情報伝達として、近所での声掛け（共助）が必要であるとの意見が有りました。

* 避難指示等伝達方法について

・現状の防災行政無線の屋外スピーカーによる伝達方法では、内容がよく聞き取れないとの意見が出されました。



このように今回は、女性を含め住民の一人一人が災害を考え・行動する必要性があり、さらに各区の自主防災組織での女性が積極的に参画していくことが重要であることが認識されました。

健康福祉部

ふれあい会食会

高齢者世帯の方が顔を合わせて食事をし、楽しい話を聞いたり、歌ったりする恒例の“会食会”を梅雨の最中の7月18日(金)に開催しました。

お馴染みのニッキ玉さんのこっけいなおしゃべりや歌を楽しみ、食生活改善推進員さん心づくしの昼食を皆でいただきました。スタッフも加えて約90名の参加でし



達人に学ぶ！人生の楽しみ方講座

8月29日夜、40名の参加を得て講演会を開催しました。

講師の増永迪男先生は81歳ですが、アルプス登山はもちろん、沢登り・やぶこぎ等もする現役の登山家です。永年NHKのふるさと通信員をされており、エッセイストでもあります。

自然に対し深い関心を持ち、気になる事を着実に実行する姿勢が窺えた反面、自分は運動神経が良くないと自覚しているから慎重に行動するとの事やヘビが嫌いとの話に親しみを感じました。我が人生を楽しむ上で、参考になる話が沢山聞けました。《はながたみ講座共催》



青少年育成部

いじめ対策に向けて！

昨年度より、当部会にて「いじめ問題に地域として何が出来るだろうか？」というテーマで議論してきました。

今年度は現状などを勉強しようとして、7月29日に越前市教育委員会の澤崎秀之先生をお招きし、当部員・PTA・親子クラブ役員等にお話いただきました。後半は全員で車座になり、質問や問題提起など有意義な時間を持つことができました。「加害者を作らないことが、いじめを無くすことに繋がる」「個々の人格を尊重し、認め、育てる」このような事を心に留めながら、地域のおんちゃん・おばちゃんとして、各種行事で子ども達を見守っていきたいと思います。また、引き続きテーマを絞った研修会も続けていこうと思っています。



うすずみ会館にて

みんなあつまれ!! 夏祭り

花筐校PTAが中心となり、子ども達のための夏祭り。今年で4回目となりました。

8月2日、5時からゲームや食べ物の屋台などで賑わいました。辺りが暗くなる7時過ぎから、児童玄関前に大型スクリーンを取付けての上映会。いつもの見慣れた小学校が、お祭り広場になったり、野外映画館になったり。若干の雨も吹き飛ばして、約300名の子ども達が楽しんでくれました。

花筐小学校の先生方、花筐見守り隊の皆様、ご協力本当にありがとうございました。





ウォークラリー



スイカ割り

楽しかった!



カレーライス作り

わくわく 2014花筐っ子大冒険

青少年育成部連携事業



8月23日(土)～24日(日)実施



釜戸でごはん炊き



夕食



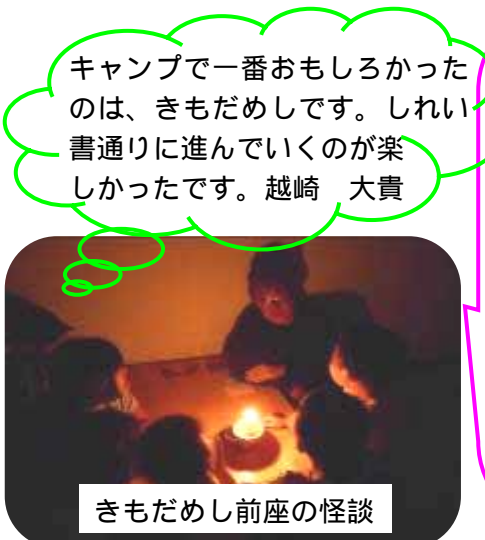
北陸電力 出前講座：発電機作り



水遊び

花筐っ子の夏休みの思い出になればと PTA 役員も微力ながら協力させていただきました。きもだめしは私たちお化け役もビビるくらいの本格仕様で、ものすごい悲鳴が公園にこだましていました。それを聞いてニヤニヤしていたのは、言うまでもありません。

地域の子供のため、事前準備や実行して頂きました方々、ありがとうございました。[花筐小学校 PTA 会長 山本 典孝](#)

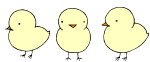


きもだめし前座の怪談

「わくわく花筐っ子大冒険」で一番楽しみだったのは、きもだめしでした。まず、ふるさとの家に行くと、スライムの中に指令書がありました。無事に着くと、マシュマロを食べておいしかったです。ちょっと暗くてこわかったです。次に楽しかったのは、水遊びでした。ジュアのニッシーにぶついたり、おかしをとったりして楽しかったです。また来年も参加したいと思いました。水谷 心



キャンプファイヤー



親子体操教室

男女参画センターの出前講座

8月26日、師田先生を迎えて親子体操を行いました。先生の明るい声と軽快な音楽に合わせ、親子の楽しいスキンシップの時間を過ごしました。

講座では、普段家でもできる簡単なふれあい体操を紹介して頂いた後、先生の子育て経験談をお伺いし、参加者が悩んでいることや不安に思っていることなどを情報交換しました。



花筐っ子ひろば

9月6日



今回の花筐っ子ひろばでは、『ピー玉とおはじき遊び』をサポートの方から教えて頂き、初



めの“昔遊び”に挑戦しました。子ども達は新鮮な様子で、色々なゲームに時間を忘れて熱中していました。



その後は、たこ焼きを作って、みんなでおいしく食べました。



東消防署

体育祭に参加しました！



粟田部地区が防火・防災モデル地区に指定されたことに伴い、9月14日に開催された粟田部地区体育祭に東消防署が参加させて頂きました。消防競技と消防ブースでは多数の参加を頂き、ありがとうございました。

今後も消防署では、火災などの災害の無い安全で安心な町づくりを目標に、行事に参加させて頂き、防火・防災意識の普及啓発を図ってまいりたいと考えています。地区民の皆様には、火災予防と防災意識の高揚に、より一層努めて頂きますようご理解とご協力をお願い致します。

地区行事予定

- 9月18日(木): はながたみ講座
(昼で！親子ミニミニ運動会 児童館共催)
- 21日(日): ふれあい交流会
- 26日(金): もみじまつり実行委員会
- 28日(日): クリーンキャンペーン
- 30日(火): 花筐小ボランティア清掃
- 10月 4日(土): 花筐っ子ひろば
- 13日(月): 岡太神社秋季祭礼

児童館行事予定

- 9月16日(火)～30日(火):
紙トンボ作り
- 25日(木): 親子リズム&手遊び
- 10月 1日(水)～22日(水):
実りの秋の製作
- 16日(木): 手形キーホルダー作り
- *いずれも要申込み

地区の人口・世帯数

- 9月1日現在、()は前月比
- 世帯数 1,170戸(+10)
- 人口 3,682人(+13)
- 男性 1,788人(+1)
- 女性 1,894人(+12)
- * 外国人数を含む

休館日のお知らせ

- 毎週月曜日、9月23日(火・祝)
- 10月12日(日)・14日(火)
- * 10月13(月)は開館

8月23日～24日の「わくわく花筐っ子大冒険」に参加されたお子様の、落し物があります。心当たりのある方は花筐公民館までお尋ねください(42-0361)。

落し物!